

防災情報の提供について

洪水時の雨量・水位の情報提供

・水防法の一部改正(平成17年7月施行)

・水位情報の公表(WINC2)

・避難の目安になる水位の設定(特別警戒水位)

・浸水想定区域の指定・公表

・洪水ハザードマップの作成

水防法の一部改正(平成17年7月施行)

平成16年の新潟や福島、福井での集中豪雨を契機に
(急激な変化に対する対応の遅れ)

- ・局地的集中豪雨により、中小河川における被害が多発
- ・避難勧告等を行う基準が不明確で逃げ遅れが発生
- ・災害時要援護者の被災が多い



人的被害

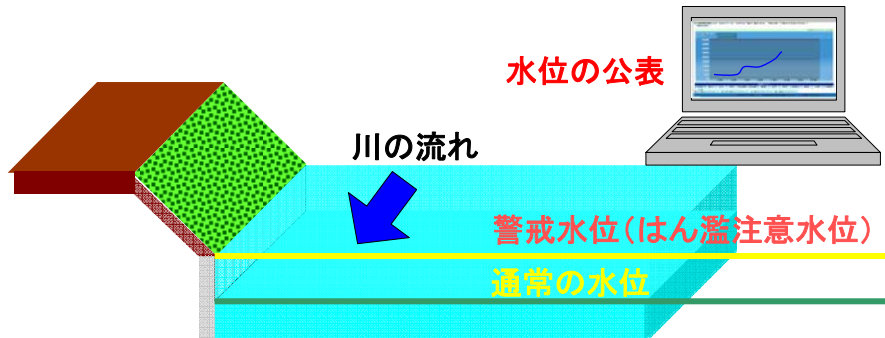
(対応策)

- ・水位情報の公表(警戒水位への到達を公表)
- ・避難の目安になる水位の設定(特別警戒水位)
- ・浸水想定区域の指定・公表
- ・洪水ハザードマップの作成と情報伝達体制の確保

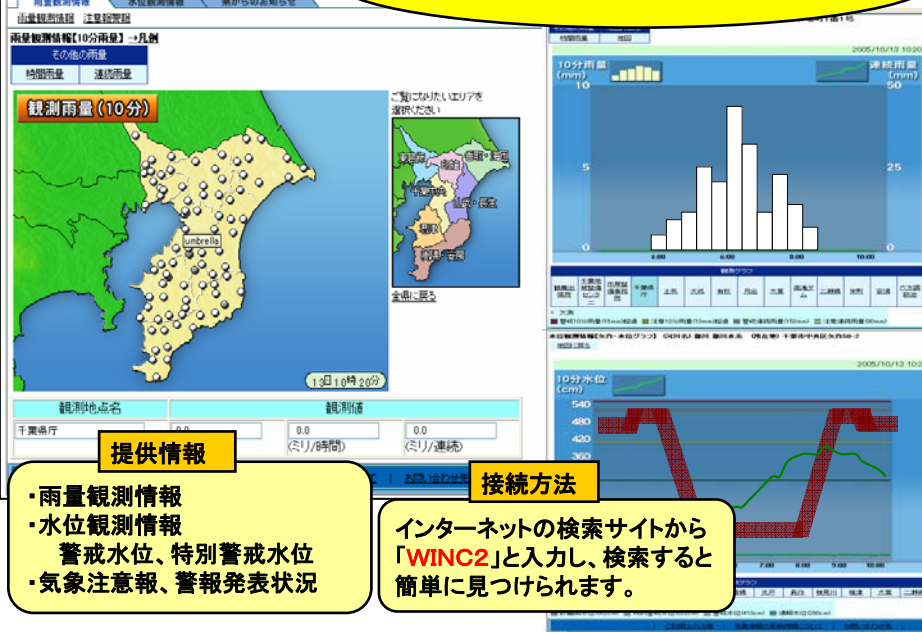
水位情報の公表

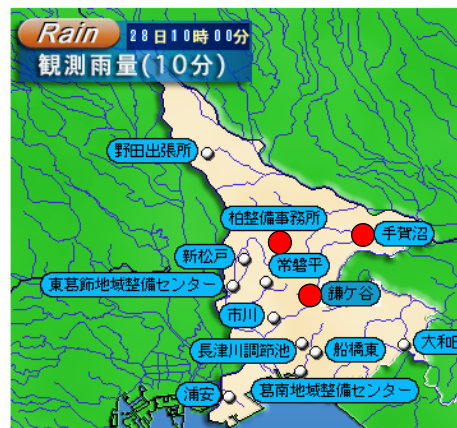
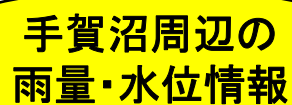
水位の通報及び公表(第12条の2)

警戒水位(はん濫注意水位)を超えるときは、その水位の状況を公表しなければならない。



「インターネット」による情報提供

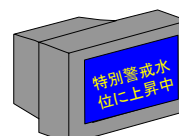




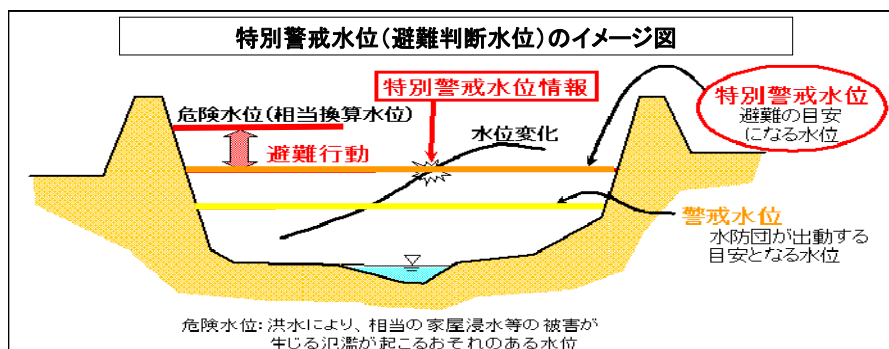
凡 例

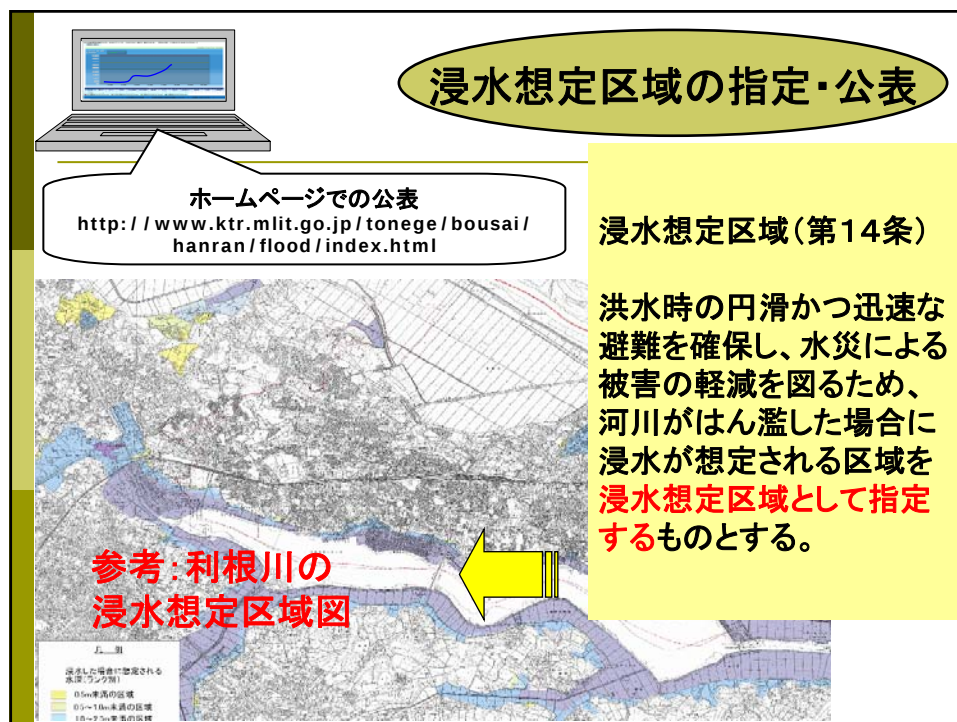
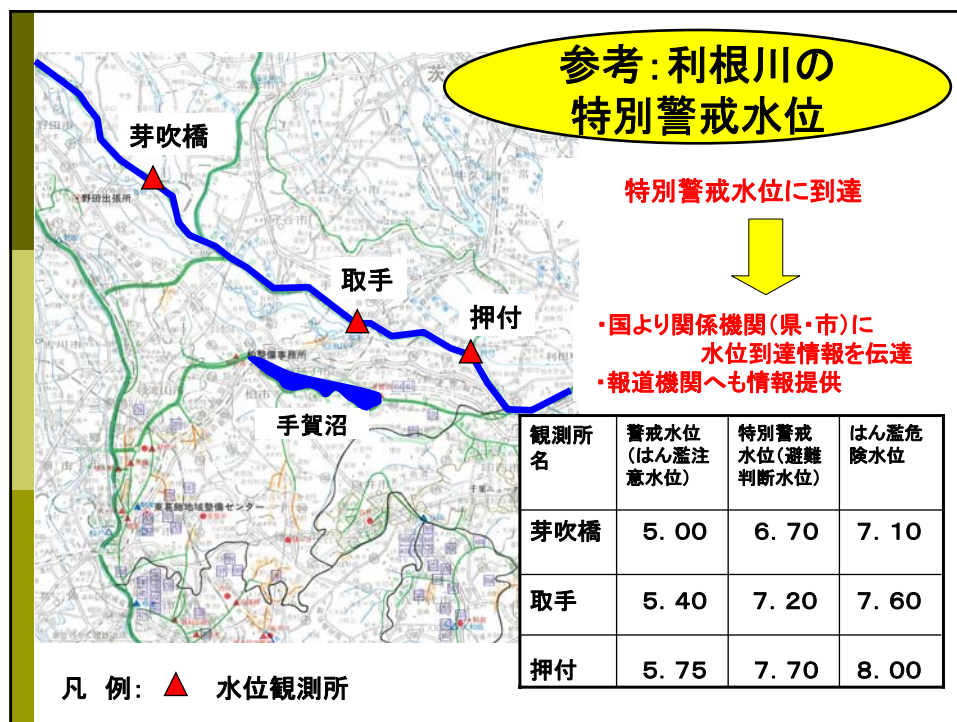
- ▲ 水位観測所 4箇所
● 雨量観測所 3箇所

避難の目安になる水位の設定



国土交通大臣・知事が行う水位情報の通知及び周知(第13条)
水位情報周知河川について、**特別警戒水位(避難判断水位)**を定め、
水位がこれに達したときは水防管理者に通知するとともに、**必要に
応じ報道機関の協力を求めて、これを一般に周知**させなければならない。





洪水ハザードマップの作成

避難場所

避難する方向

浸水想定区域における円滑かつ迅速な避難を確保するための措置(第15条第4項)

浸水区域をその区域に含む市町村の長は、**情報の伝達方法、避難場所などを記載した印刷物の配布、その他必要な措置をとらなければならない。**

**柏市
洪水ハザードマップ**

**我孫子市
洪水ハザードマップ**

洪水ハザードマップ作成状況

凡 例

■ 洪水ハザードマップ作成済(32)

■ 平成20年度作成(4)

■ 平成21年度以降作成予定(14)

平成19年度まで

野田市、流山市、松戸市、千葉市、成田市、香取市、市原市、袖ヶ浦市、木更津市、いすみ市、鴨川市等

..... 32

平成20年度予定

富津市、多古町等... 4

※今後数年の内に、浸水想定区域内の50の市町村で作成する予定